

2027年度

英語による 国際共修教育プログラム Interdisciplinary Program for Global Frontier Leaders



プログラムの特徴

学際性

日本と世界、さまざまな学問分野を
横断的に学ぶ科目

- 世界で通用する複眼的視野とスキルの修得

協働力 思考力

ディスカッション中心の授業により
学生が主体的に授業に参加

- 議論・仲間と協力して考える力の向上

国際性

日本人の学生と留学生との共修
すべて英語による授業

- 様々な視点での日本と世界のつながりや特徴の理解
- 世界の人々とのコミュニケーション力の向上

様々な チャンス

留学生とともに行動する協働体験
留学

世界で活躍するあなたへ

～なぜ 群馬大学 I-GFLなのか？～

未来のグローバル社会で活躍する皆さんが、様々な場面で力を発揮できるよう、群馬大学は“Interdisciplinary Program for Global Frontier Leaders (I-GFL)”をスタートします。これから皆さんが羽ばたく世界には、多くの課題が山積しています。国内では少子高齢化や地域社会の維持、働き方改革、世界では気候変動、感染症、そして紛争や貧困など、立場やバックグラウンドの異なる、多様な人々が共に協力することなくしては、解決できない問題ばかりです。

こうした複雑な問題に立ち向かい、解決するには、様々な意見に触れ、異なる分野の人々と知恵を出し合い、世界中の人々とコミュニケーションを取る力が不可欠です。

群馬大学のI-GFLは、多彩な授業と活動を通じて、皆さんが真に必要な知識と経験を得ることを全力でサポートします。

I-GFLで、未来を切り拓く力を手に入れ、世界のどこでも活躍できる自分になりませんか？

I-GFLが目指すもの



Our Mission

世界的な視野と社会的な責任感を持ち、現代社会の諸課題の解決とよりよい未来のために分野を超えて行動できる未来のリーダーを育てる

Our Vision

グローバルな気付き、ローカルなつながり、学際的な学びを通じ、未来の卓越した人材を育む国際的に認められた大学になる

Our Values

- ・グローバルなマインドセットとローカルなつながり
- ・学際的な学びを通じたイノベーション
- ・倫理観の伴ったリーダーシップとレジリエンス



高校生の皆さんへのメッセージ

群馬大学では 2026 年 4 月より、特別専攻プログラム「Interdisciplinary Program for Global Frontier Leaders (I-GFL)」を開設しました。

本プログラムでは、英語を学びの基盤とし、多様な専門分野や文化的背景をもつ学生同士が協働しながら学ぶことを通じて、変化の激しい社会で主体的に活躍できる人材の育成を目指しています。

初年度から全学部より多くの学生が参加してくれたことを大変うれしく思っています。これからも、群馬大学の学生や留学生の皆さんとともに、I-GFL を未来を切り拓く学びの場としてさらに発展させていきたいと考えています。



群馬大学
グローバルイニシアチブ
センター長
渡部 孝子

■ 私たちそれぞれのアイデンティティと日本

- ・【授業のねらい】 様々なバックグラウンドを持つ学生とともに日本に関する多様なトピックについて学生が考え、自分の意見を持ち、議論することで日本についてより深く理解することを目指します。日本になじみのある人と最近日本に来た人が、それぞれの観点から日本について見つめる授業です。
- ・【授業内容】 日本の言語・社会・ポップカルチャー・伝統芸能・習慣

■ 誰一人取り残さない開発

- ・【授業のねらい】 幅広い観点から開発（development）について理解し、議論します。開発に関する様々なトピックについてこれまでの知見や経験を学ぶとともに、日本への応用について考え、議論し、プレゼンテーションを行います。
- ・【授業内容】 諸外国の開発・マイクロファイナンス・日本への応用の可能性

■ 社会を考える哲学

- ・【授業のねらい】 公共政策に関わる「正しさ」や「善さ」についての考えを広げるとともに、自分自身の道徳的な考え方も深めていきます。社会のしくみを考えるなかで、「自分だったらどうするか？」を一緒に探っていきましょう。
- ・【授業内容】 正義とは何か？国家が個人の自由を制限してよいのはどのような場合か？

■ AIと人間のこれから

- ・【授業のねらい】 哲学、倫理学、社会心理学、社会学などの知識を活かして、「AI がどのようにして、ふだんは体験できないような現実を私たちに見せてくれるのか」、そして「そうした体験が学びの道具としてどう使えるのか」を一緒に考えていきます。AI を通じて、ちょっと先の未来や別の視点を体感してみましょう。
- ・【授業内容】 VR（ヴァーチャル・リアリティ）体験・AI が突きつける倫理的課題

■ 環境と共存する倫理

- ・【授業のねらい】 「私たちはなぜ、そしてどのようにして、自然と共に生きる“責任ある存在”になれるのか？」をテーマに、一緒に考え、話し合っていきます。地球の一員としての生き方を見つめ直し、自分にできることを探してみましょう。
- ・【授業内容】 人間は自然の一部か？気候変動を是正するための負担はだれが負うべきか？

■ グローバル化社会のなかの技術

- ・【授業のねらい】 今日、世界の人々は世界のほかの地域の人々や資源、技術と不可分に暮らしています。活発な国際交流は人々の生活のメリットになる一方で様々な対立を生むこともあります。授業を通じ、国際交流の様々な側面についての情報に接し、自らの頭で考え、自分なりの意見を持ち、考える力を養います。
- ・【授業の内容】 人の移動とインターネット・資源と紛争・サプライチェーンと人のつながり

■ 芸術を通したコミュニケーションデザイン

- ・【授業のねらい】 バックグラウンドの異なる群大学生と留学生がともに、音楽・美術などノン・ヴァーバルな表現形態を通じて、表現やコミュニケーションの可能性と相互理解のあり方について考えます。
- ・【授業の内容】 音楽・美術など非言語的な表現やコミュニケーションの演習およびディスカッション

※上記のほかにも科目の追加を検討しています。

授業以外のプログラム

Buddy G-Exploration (Buddy Gunma Exploration)

- 日本の学生と留学生がペアを組み、群馬県内の地場産業体験を行います。
- バックグラウンドの異なる人と協働を通して社会の仕組みを学びます。

様々な留学機会

- 短期から長期まで、留学プログラムに参加します。
- 留学を通じ、外国の文化や習慣に触れるとともに、日本について客観的に捉えなおします。

※名称・内容は変更になる可能性があります

参加の流れ

STEP

01

エントリー登録手続き

4 月中にガイダンスを行います。ガイダンスに参加し、I-GFLへの登録手続きを行ってください。

選抜はありませんので、意欲があれば誰でも参加できます！

STEP

02

授業の履修・活動への参加

教養教育科目の単位となります。

I-GFLの授業は1年次4月から始まりますので、他の授業と同様の方法で履修してください。
群馬県内の地場産業体験や留学にも参加します。

(2年次以降の参加も可能です)

STEP

03

修了証 (certificate) の発行

他では得られない、あなたの付加価値となります！

所定の単位取得・プログラムへの参加によりI-GFL修了証が発行されます。

Q & A

Q. I-GFLへの参加方法は？

A. 参加には登録が必要です。詳細についてはI-GFLのHPで最新の情報を確認するようにしてください。

Q. I-GFLを履修することのメリットはなんですか？

A. 授業やプログラムを通じ、どこでも応用できるスキルが身に付きます。また、規程の授業履修・プログラムを完了すると修了証が発行されます。

Q. I-GFLの授業の単位の取り扱いは？

A. I-GFLで履修した授業は教養科目として卒業に必要な単位に含まれます。

Q. I-GFLの授業を履修できる年次は決まっているのでしょうか？

A. 決まっていません。参加登録をした学生は、卒業までに必要な単位を修得すれば修了証が発行されますので、自分の授業の予定に合わせて参加できます。ただし、授業は荒牧キャンパスで行われるので、可能な限り1年次に履修することをお勧めします。

Q. 英語に自信がなくても参加できますか？

A. はい、参加できます。I-GFLの授業では「文法的にきれいな英語」「豊富な語彙」がなくとも意思疎通できる力を身に付けることを重視しています。英語のコミュニケーションがとれるよう大学がサポートします。

